

滋賀建設会だより

第4号 滋賀建設会

新会長

就任ご挨拶

会長 石田良明

この度の役員改選にて、歴史ある滋賀建設会の会長に就任させて頂きました。S55年卒の石田良明です。

7月18日に開催されました総会・懇親会には、公私お忙しい中、多数の会員の皆様に参加して頂き、役員を代表してお礼申し上げます。また、大学からは中島先生、野坂先生、並びに滋賀建設会からは中尾会長様を始め、大阪、京都、奈良、愛知の各支部の会長様などにご臨席賜りお礼申し上げます。

私たちの多くが携わっています建設産業の状況は、アベノミクス効果もあり、最近では上向きですが、一般的には建設投資の減少に伴う競争の激化やコスト削減などによる就労環境の悪化などによる若年就業者数の減少、高齢化の進展など大変厳しい環境に変わりはありません。

本県では「住み心地日本一」の滋賀を目指して、建設産業には社会資本の整備・維持のみならず災害に強い県土づくり、地域づくりの担い手として重要な役割が求められ、また、滋賀県の経済発展や雇用を支えるには建設産業の活性化が不可欠とされています。

滋賀県人として「琵琶湖」以外に滋賀県は「住み心地日本一」と自慢できれば素晴らしいと思いませんか？その実現に当建設会も微力かもしれませんが一翼を担って行ければと思います。

（昨年度、滋賀建設会のホームページを立ち上げました。どうぞ、会員相互の交流の場に活用願います。）

「部分係数設計法」について

S53年卒 吉川悟司

(株)エイト日本技術開発(勤務)

背景と現状

我が国の構造物設計に係わる技術標準は、土木や建築あるいは鋼やコンクリートといった各構造物の特性に特化しており、道路橋の設計では、省令に準じた技術基準として「橋、高架の道路等の技術基準」(道路橋示方書)が運用されています。この道路橋示方書は、時々の時代の背景や知見を取り入れながら制定整備されており、現行では平成24年3月に従来の許容応力度設計法体系を基本とした改定がなされています。一方、構造物の要求性能を合理的に検証する手法として「土木・建築にかる設計の基本(国土交通省)」や「国際標準基準 ISO2384(構造物の信頼性に関する一般原則)」で推奨されているように、信頼性指標の考え方を基本とする国際的な技術基準としての限界状態設計法の導入が求められています。このため、道路橋示方書においても限界状態設計法への設計フォアキャストへの移行が予定されており、これに対応すべく合理的な検証手段としての部分係数設計法の検討が行われています。

国土交通省では許容応力度設計法体系から部分係数設計法を基本とする体系への移行の一環として、国土技術政策総合研究所の指導のもと、部分係数設計法を導入した場合の影響把握のための試行業務が各地方整備局で実施されており、当社では、関東・近畿・中国において各々の構造形式が異なる橋梁を対象に、道路橋示方書改定に携わっている経緯を経験を活かしながら鋭意対応しているところであります。

概要

現行の基本体系である許容応力度設計法は、作用荷重に対して構造物

に要求される性能がわかりにくい面があり、破壊に対する安全性を保証することで実質は他の機能に対して安全率の余裕により保証しているという特徴があります。一方、部分係数設計法では、設計において考慮しなければならない状態での安全余裕や性質の異なる不確実要因について個別に配慮することが可能であり、統計データと信頼性理論に則って定められた部分係数を用いることにより、目標性能レベルに対する安全性が明瞭に表され定量的に制御することが可能となります。照査書式の例として各々の違いを示すと次のようになります。

許容応力度設計法

応答値(S)≦安全率(C)

限界値(R)≦抵抗係数(s)

部分係数設計法

応答値(S)×作用係数(α)≦限界値(R)×抵抗係数(s)

応答値は地盤や材料特性等のばらつき、限界値は材料強度等のばらつきにより何らかの確率分布を持ち、応答値と限界値が重複する範囲が破壊領域となりますので、この関係をもとにした適切な部分係数を設定することが必要になります。

なお、過年度の道路橋示方書に基づく橋梁設計結果に対する部分係数設計法導入の影響としては、上部・下部・基礎等の各構造の組合せによりその影響度が異なる傾向にありますので、今後は道路橋示方書改定に向けて、他の事例と併せて精査検証を進めていくこととなります。

「無くならない仕事」

S63年卒 小嶋 忠敏

(大津市勤務)

長男として、地元で働きたいと思っていたので、たまたま地元市役所に応募し、はや30年、私が奉職した頃は、インフラ建設の真只中、最初の配属は、下水道建設課という課に配属され、「開削、いや推進・シールド、薬注や」どうにかして下水道管を布設しなければ、予算は潤沢、景気対策には公共事業、「水洗トイレに換えたい。」農村にも下水道が必要、市民の皆さんの応援もあり、どんどん工事を発注し、行け行けどどんの時代でした。

今は、大津市道1200kmの維持管理部署へ、辞令1枚で移動です。時代は移り変わり、道路ストック調査、橋梁の長寿命化、アセットマネジメントの横文字、結局、寿命がきた構造物の維持補修を適切に行い、長く使うという当たり前のことですね。メンテナンス元年となりました。日々の仕事では、「振動する。除草してほしい。側溝に蓋を掛けてほしい。」など、要望と苦情の嵐が吹き荒れる中、昨年の9月16日には、初めて特別警報が出る大きな災害を経験しました。この災害では、「地元業者さん減った。」と、つくづく感じるとともに、土建屋さんは、「無くならない仕事」だし、もっと若い人に魅力的な仕事にしなければならぬと沢山の人が感じたと思います。維持管理部署に来るまでの約15年間、許認可関係の仕事が多かったため、改めて現場の大切さ、難しさを味わいました。



さて、家庭では、皆さんと同様に毎日の晩酌はかせません。そして、寝る前には、オークションで色々買って、結局無駄なものが増えていくのが分かってきたこの頃です。また、ふるさと納税の本を購入し、いろんな特産品をゲットする準備を整え、今年度の目標は、岩倉市(名古屋コーチン)、石垣市、鳥取市、高知市など、草津市もなかなか評判が良いようですが、大津市は？大津市外の方、大津へふるさと納税よろしくお願います。最後に過去年の様子が見られる時代で

すが、先のことは、誰も見られませんが、将来の職場を私なりに近未来予測をしてみました。
・道路維持管理業務の大部分が指定管理者へ、道路改良業務の大部分がPFIなど、包括的な維持管理の委託が進んでいる。
・TPPの影響か！外資の建設業者が、外国人を使って建設工事を行なっている。
・滋賀県と各市が合併している。又は、広域連合となり県や市の概念がなくなる。
・小型リモコンヘリが現場確認の写真を転送している。
・人工衛星で道路状態を宇宙から監視している。
安全・安心を担保する仕事は、「無くならない仕事」です。これからも、同じ立命の仲間としてよろしくお願致します。

建立会に行ってきました

平6年卒 松延宏昭

(滋賀県勤務)

正月気分も醒めやらぬ1月25日、噂に聞かされた建立会(建設会の大津支部)に参加(視察)してきました。開催地は、地下鉄本町駅から徒歩数分、ビジネス街に建つホテル「ヴィアール大阪」です。大阪市の互助会施設で、毎年ここで開催されているとのこと。時期が時期なだけに多くの新年会が開催されており、ホテルのロビーに人が溢れる中、建立会の会場である2階へ。全くの初めて参加なので、若干、心細さもあったのですが、入口付近で、滋賀建設会の山岡会長とお会いでき安心。既に滋賀の面々も来られているとのこと。ちなみに滋賀建設会から出席したのは、山岡会長をはじめ、石田副会長、運営委員の田中さん、そして事務局の川又さん、私の総勢5人です。受付として滋賀建設会の方々との挨拶を済まし、ホッと一息ついたところでさっそく視察開始です。業種ごとに分かれた受付で、皆さんが名刺交換に動かれていて、中、誰も知った方がいない私は、受付の兄さんを直撃取材。参加者名簿を貰えないか確認したところ、無いとのこと。なんと、参加者は事務局でも把握しておらず、事前にチケットを買った方のお名前のみ把握しているとのことでした。(チケットは前売りなので、参加人数が減っても運営上の問題はなく、会の終了後に回収する名札で参加者を確認しているとのことでした。)ちなみに、チケット販売リストを見せて頂いたのですが、総売り上げ144人分。それに来賓の方も居られるので、総勢200名程度の参加者数だと思われまます。そうこうしているうちに、開催時間が近づいてきたため、会場内へ。定刻の午後2時になり開催です。女性2人の華やかな司会のなか、大西建立会会長のご挨拶に始まり、中尾建設会会長を始めとした来賓のご挨拶へと続き、次第どおり滞りなく進行されていきます。そして、祝辞の披露が終わわり、いざ乾杯。ここまでの間、30分弱。建立会顧問の吉川征史氏による乾杯の音頭で懇親会が始まりました。食事は立食形式ではあるもののボリューム満点でしたが、私は先ほど昼食を食べたばかりでお酒ばかり頂くことに。ちなみに、お酒は飲み放題ですが、お料理は出し切りとのこと。一方、懇親会場では、あたり前ですが、全く知った顔が居られません。名簿も無く、動きがとれないところ、それでは視察したことにならないので、ビール瓶を持って出陣です。ビールを勧められて名刺交換を繰り返してきました。結果、お話をした方は、企業にお勤めの方がほとんどという印象。ゼネコンの方、大阪のコンサルの方、同期の飲み会として関西一円から参加しているという若手の一団もいました。そうこう廻っているうちに、応援団の演舞が始まり、先生方からの報告へと続きます。その後、若手と女性合計17人の自己紹介タイム。これは始めの方でして欲しかったイベントです。(話のきつかけがなく、声かけづらかった)そして万歳三唱でお開きとなったのが午後4時半。あつという間の2時間半でした。全てが予定どおり終わり、会場を後にしましたが、外はまだまだ明るく、皆さん、それぞれ連れだつて、夜の街へ繰り出して行かれました。初めて、滋賀以外の支部へ出向いたので、規模の違いはもちろんなこと、参加されている方々の構成や世代、運営方法の違い。また、若手や女性の取り込みが尽きられていることも分かり、有意義な参加となりました。



(株)昭建に入社しました

H26 年卒 菅森悠馬

立命館大学理工学部環境システム工学科を卒業しました。菅森悠馬と申します。今年の4月から株式会社昭建の工事本部工事係で勤務することになりました。私自身、生まれも育ちも大津市ということもあり、滋賀県内での就職を考えていました。私が、建設業界に興味を持ったのは、厳しい環境に身を置き、成長したかったということ、現場監督として、町づくりに貢献したいという思いがあったからです。ただ、この業界について調べてみると、悪いイメージを持った意見が大半で、実際に建設会社に携わっている友人も、あまりオススメできないと言っていたので、入社前は少し不安もありました。

現在、私は「草津守山線 補助道路整備工事」の現場で仕事をしています。配属された当初は、現場作業の知識がゼロということもあり、右も左も分からないまま、必死に現場の動きを見ていました。また、重機との距離を保つことや、掘削した際の法面・法肩を注視したり、歩行者の方の迷惑にならないように作業したりと、現場に立つて初めて多くの危険が潜んでいるのだと感じましたし、常に作業現場とその周囲が安全であるかどうか確認する大切さを知りました。

私の最初の仕事としまして、現場を見ることと、使用機器や道具の名

前と使い方を覚えることでした。特に使用機器・道具は、同じものでも人によって呼び方が違うこともあり、ややこしかったです。現状は、レベルや光波を据え付けて丁張をかけたリ、作業工程の写真を撮ったりしています。

現場に来て、約2ヶ月が経ちますが、率直な感想として、思っていたほど悪いものではないのかなと感じました。現場の先輩の方からは仕事を丁寧に教えてもらえており、作業員さんたちからも気さくに話しかけてもらえているので、現場の雰囲気としては良いように思います。残念なこととしては、同期に現場で仕事をしている人がいないことと、年齢の近い人がいないことです。同じ目線の仕事の話ができないことや、競争相手がいないのは寂しいです。

最後に建設業界について、残業が当たり前で、土日出勤もあり、夏や冬も外で仕事をしますし、ほかにも悪いイメージもあるので、人気がないのかなと感じました。将来的にもなかなか伸びにくい業界だと思えますが、若い世代が入ってくることに期待しつつ、これからは厳しい環境の中で、成長していきたいと考えています。

近況報告 (卒業年次順)

- S25 林 幸三郎** 入院が続いています。今後共よろしく。
- S32 横江 武彦** 7月18日は小学6、5年生の宿泊研修があり、震災についての講師を前より依頼されておりました関係により欠席させていただきます。日々は元気でボランティア活動を行っております。皆さんよろしく。
- S33 高橋 啓** 第3の職場を退職して早5年経ちます。家の樹木の年1回の枝切り等の管理、月1、2回のゴルフ、後はテレビの守り等で、その日その日を過ごしています。現在のところ、体は元気で。
- S33 安田 勝美** アクア琵琶(南郷)の案内ボランティアをしております。今のところ、第2、第4日曜日を開館する予定です。(ウィークデイは開館してきませんでした。)一度、ぜひ、子供さん達とお越しください。
- S35 堀池 勉** 今回の総会懇親会は病気のため欠席

いたします。6月1日びわこくさつキャンパス開放20周年企画行事に参加しました。笠原学部長の話、今後の教育方針、国際化に適合する人材育成のため、最先端技術教育と相手国の歴史文化を学ばせる方針。有能な後輩の社会での活躍を期待します。

S36 古澤 豊 趣味は海釣り。6月3日に中川記念館の36年卒業の同窓会が開かれました。参加者は41名でした。来日より1年に一度開かれます。土木工学科で滋賀県在住は5人です。

S41 伊藤 稔 仕事は京都市上京区で独身者用マンションのオーナーです。家族は、妻と4人子供(男3名、女子1名)、孫4名です。趣味はゴルフ、登山、魚釣り、園芸を楽しんでいます。ゴルフは最近飛ばなくなり、100切り出来なくなってきました。ゴルフ教室に行こうかと考えています。

S41 矢幡 博利 元気で。毎日退屈することなく過ごしています。

S41 山口 勝彦 毎年案内いただきありがとうございます。体調不良が続く、療養に専心しております。

S42 金井 洋一 なんとか元気で旅行、ゴルフ、山歩き、家庭菜園に汗を流して頑張っております。

S42 中川 伊左雄 昨年3月末に退職し、46年間のサラリーマン生活に終止符を打ちました。週末は実家(空き家)のある高島市朽木で野菜づくり等で過ごし、京都の自宅では、囲碁を楽しみ、孫のもり等に明けられております。

S42 村田 欣治 私は退職して、古希を迎える年齢になりました。その間、健康に恵まれ、自然とのかかわりやボランティア活動で元気に過ごしております。今回の建設会も参加できませんが、よろしくお伝えください。

S43 南部 忠昭 当日、所用で出席できません。悪しからず。皆様によろしくお伝え下さい。

S44 山口 晃 当日は旅行で出席できません。現在、農業自営で頑張っています。月2回のゴルフと登山を趣味にしています。今後ともよろしくお願ひします。

S45 馬場 敏彦 地元町内会、学区自治連、学区まちづくり協議会の役員で、毎日忙しく

しています。

S48 伊庭 健治 町内会の仕事を引き受け、毎日雑用に使われています。

S48 中谷 惠剛 NPO活動など、結構忙しい日々です。日本ダム協会のHPに写真を出したりしています。(流域治水はダムを否定するものではありません。)

S48 山本 啓幸 7/18ははずせない予定が先に入ってしまった残念ながら出席出来ませんでした。しばらく参加出来ないのですが、次回ぜひ。昨年、立命大の東北応援ツアーに参加し、岩手県へ行って来ました。その後、宮城県の太平洋側を見て来ました。復興にはまだまだ時間がかかりそうです。

S49 外口 透 当日は49卒の最後の全国版同窓会を企画しています。もちろん先生も幹事の一人なので参加できません。清水を退職して、建設会の皆様との交流も減りましたが、懐かしいです。

S49 中川 隆一 2013年から立命館大学環境システム工学科・岡本享久研究室(環境マテリアル)で非常勤講師・客員研究員として、ヘッドロを有効利用するため、ヘッドロコンクリートの研究を、学生さんと一緒に行っています。

S53 南部 安賢 ぶらり山歩きを始めて9年程になります。山頂に立った時の感動が忘れられず、体力の続く限り、歩き続けたいと思います。

S53 堀井 信幸 大津市勤務36年となりました。今年4月より、道路建設課に配属となりました。

S53 山岡 和則 通勤時にウォークマンを聞くのに、ポータブルアンプを使い始めました。CDだけでなく、FM放送の録音の音まで豊かな音になり、音楽通勤が楽しいです。好きな方、声をかけてください。

S55 石田 良明 最近、海上釣堀にハマっています。合間にイカ釣り、バス釣りも。

S56 田中 伸明 正和設計(株)は、只今、情報セキュリティに関するISO27001の取得を目指し取組中であります。(年内取得を目標)

S60 日永 学 長い間欠席しており申し訳ありません。発注者支援業務で役所勤務をしていましたが、今年の4月に会社へ

戻ることになりました。どうぞよろしくお願ひします。最近、自宅の裏で細々と野菜作りをしています。

S62 中江 政善 申し訳ございません。課の納涼会と重なりました。みなさんよろしくお願ひします。

H07 石田 哲也 最近、犬(トイプードル)を飼い始めました。家族でかわいがっています。

三二 渡部 博嗣 リブル・ウインド・オーケストラでチューバを吹いています。

三三 門脇 広和 もうすぐパパになる予定です。(パパになりました。)

三三 杉本 卓也 参加できずに申し訳ありません。6月に初めての子供が産まれたところ、話をがんばっているところ。そのため、なかなか外に出られない状況です。よい会になることを願っております。

三三 湯浅 まゆ 滋賀県庁に入庁して、今年で10年目になります。現在は、農業土木の分野において、お世話になり4年目を迎えております。本来の自分の所属である土木分野の動向も気になるのですが、現在の上司や諸先輩方に温かく支えていただきながら、日々過ごしているところです。

三九 藤岡 裕美子 現在育児休業中です。

H20 和田 大 流域下水道の維持管理、計画、建設を担当しています。また、アウトドア・アクティビティが好きで、山川海どこへでも行きます。6月末には野洲川いかだ下り大会に参加してきました。何かおもしろいアクティビティがあれば、ぜひ教えてください。

H22 濱口 貴仁 道路の改良担当として、歩道の拡幅工事など担当しています。

H23 一貴田 悟司 大学卒業後は千葉へ行っていましたが、今年から滋賀へ戻ってまいりました。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

H24 北川 洋平 道路法の許可申請業務を担当しています。また、バドミントン、旅行を楽しんでいます。

H24 大林 正裕 公共交通施策を担当しています。また、得意と言えるほどではないですが、休日にはフットサルを楽しんでいます。

います。

H24 中川 和馬 湖南中部浄化センターの施設維持管理を担当しています。

H26 菅森 悠馬 野球が好きで、中学校までは部活で大学ではサークルでやっています。また現在シーズンは終わっていますが、海外サッカーの観戦が趣味です。

(注) 申し訳ありませんが、原文の思いを変えぬように、一部変更させていただきます。ご了承ください。

平成26年度 新体制

会長 石田良明(昭和55年卒)
副会長 西村貞雄(昭和44年卒)
堀井信幸(昭和53年卒)
田中伸明(昭和56年卒)
・OB担当
・広報企画担当
・総務担当

監査 西村義博(昭和49年卒)
須永啓之(昭和53年卒)

運営委員 (総務担当)
中江政善(昭和62年卒)
小嶋忠敏(昭和63年卒)
門脇広和(平成13年卒)
南部安賢(昭和53年卒)
木村幹彦(昭和57年卒)
守岡卓蔵(昭和60年卒)
友田昌良(昭和60年卒)
山田千尋(平成11年卒)

学年連絡委員
服部喜由(昭和50年卒)
山本一正(昭和51年卒)
稲葉 実(平成6年卒)
足立憲悟(平成11年卒)
北川一哉(平成11年卒)
松岡友香(平成13年卒)
村田康行(平成16年卒)
玉木 慎(平成20年卒)

事務局
川又英史(平成5年卒)
松延宏昭(平成6年卒)

HPで総会懇親会を「ご覧下さい」

H26 滋賀建設会総会懇親会の詳しい様子は、HPに掲載しました。お楽しみください。(Googleで「滋賀建設会」と検索し、上位にあります)